

2024（令和 6）年度 ACS 国際文化学院 自己点検・自己評価

1. 対象期間

2024（令和 6）年 4 月 1 日～2025 年（令和 7）年 3 月 31 日

2. 項目

- (1) 認定日本語教育機関の目的及び目標の達成状況に関すること（事務局）
- (2) 教員及び職員の組織運営に関すること（教務・事務局・入試）
- (3) 施設及び設備に関すること（事務局）
- (4) 日本語教育課程の編成及び実施に関すること（教務・入試）
- (5) 卒業の認定及び学習の成果に関すること（教務・事務局・入試）
- (6) 生徒への学習上及び生活上の支援に関すること（教務・事務局）
- (7) 教育活動等の改善を継続的に行う仕組みに関すること（教務・事務局・入試）
- (8) 財務に関すること（事務局）
- (9) 危機管理・安全に関すること（事務局）
- (10) 生徒募集と受け入れに関すること（教務・事務局・入試）
- (11) 法令等の遵守に関すること（事務局）
- (12) 学校運営に関すること（事務局）

3. 評価方法

評価	達成状況
A	達成されている。（達成率 90%以上）
B	ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。（達成率 70%以上）
C	達成に向けて努力している。（達成率 50%以上）
D	達成されていない。 / 必要性に気づいていなかった。（達成率 50%未満）

※C 又は D 評価となった項目についての具体的な改善策

1. 認定日本語教育機関の目的及び目標の達成状況に関すること

内容	評価
1-1 教育理念・目標・育成人材像は定められているか。	A
1-2 理念・目標が教職員、生徒に周知されているか。	A
1-3 学校の特色は明確に現れているか。	A
1-4 理念に基づく教育が行われているか。	A
1-5 日本語教育機関が定めた目的及び目標が達成されているか。	A

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

本校は、「質の高い日本語教育を提供し、日本国内だけでなく、母国においても介護・福祉のリーダー通して活躍できる高度人材を育成する」を教育理念通している。設立にあたり、繰り返し話し合い、理解を深めるとともに、教職員会議や研修においても設立趣旨・理念・教育目標を共有している。生徒に対しては、募集活動時だけでなく、入試の面接試験の際にも母国語対応の通訳を通して説明している。

2. 教員及び職員の組織運営に関すること

内容	評価
2-1 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか。	B
2-2 組織運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか。	A
2-3 教育理念・目的が教職員間で共有されているか。	A
2-4 教職員評価を行っているか。	B
2-5 学校長・教務主任及び教員は認定基準で定める要件を備えているか。	A
2-6 学校長・教務主任・専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められているか。	B
2-7 生活指導担当責任者及び入管事務担当者が特定され、それぞれの職務内容及び責任と権限が明確に定められているか。	A
2-8 生活指導担当責任者及び入管事務担当者が生徒及び教職員に周知されているか。	A

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

運営方針は全体で共有を図り、組織図で各部門の責任者及び担当業務の明確化を図っている。項目 2-1 については、今年度より教職員の意見を運営と共有する体制を強化し、改善を目指している。項目 2-6 については、職務内容を全体で分担するなど、協力体制は確立できていた一方で、責任や権限が明確でない部分があり評価は B となった。今年度より、職務内容と合わせて責任や権限も会議等で共有し、報告・相談体制も整備している。項目 2-4 については、実際に担当した授業や業務を対象に含めた教員評価を今年度に予定しているため、評価は B となっている。

3 施設及び設備

内容	評価
3-1 施設・設備は教育上の必要性及び生徒の安全確保に十分対応できるよう認定基準に基づき整備されているか。	A
3-2 教育機関通して適切な位置環境にあるか。	A
3-3 校地・校舎の面積は認定基準に適合しているか。	A
3-4 教室・その他の施設は認定基準に適合しているか。	A
3-5 学校施設や設備は十分であるか。	A
3-6 学校施設や設備は安全に整備されているか。	A
3-7 図書や教材は適切で最新のものを取り入れているか。	A
3-8 学習効率を図るための環境整備がなされているか。	A

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

本校の施設及び設備は、認定基準を満たしていることに加えて、カリキュラムの遂行や安全な学校生活を送るために十分である。また、点検担当者を決め、定期的に設備のチェックや安全性や衛生面の確認を行っている。

4 日本語教育課程の編成及び実施

内容	評価
4-1 教育理念に沿ったカリキュラムが体系的に編成されているか。	A
4-2 授業評価の実施・評価体制は整備されているか。	A
4-3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか。	A
4-4 生徒の日本語能力の向上が図られているか。	

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

カリキュラムや授業の評価方法等については、教務主任が中心となり、教育理念や教育の目的及び目標に沿っているかなどを確認しながら作成した。また、それらの実現に向けたテキストの選定や設備も導入している。教員を採用する際にも、理念等に共感をし、カリキュラムの遂行に適した人材を選任した。項目 4-4 については、対象年度内に生徒が在籍していないため、評価を行っていない。

5 卒業の認定及び学習の成果

内容	評価
5-1 成績評価や修了認定は適切に行われているか。	
5-2 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか。	
5-3 進学率及び就職率の向上が図られているか。	
5-4 退学率の低減が図られているか。	
5-5 卒業生や在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

いずれの項目についても、対象年度内に生徒が在籍していないため、評価を行っていない。

6 生徒への学習上及び生活上の支援

内容	評価
6-1 進学・就職指導に対する体制が整備され有効に機能しているか。	
6-2 生徒相談に関する体制が整備され有効に機能しているか。	
6-3 奨学金等の経済的支援が整備され機能しているか。	
6-4 生徒の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う組織体制があり、有効に機能しているか。	
6-5 交通事故時の相談体制を整備しているか。	
6-6 生徒の生活環境への支援が整備され有効に機能しているか。	
6-7 住居支援を行っているか。	A
6-8 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。	
6-9 入管法上の留意点について生徒への伝達、指導を定期的に行っているか。	
6-10 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取り組みを継続的に行っているか。	
6-11 保護者や在日支援者と適切に連携しているか。	A
6-12 卒業生への支援体制はあるか。	B

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

項目 6-7 は、本校に寮が併設している他、不動産会社とも提携済みである。項目 6-11 については、生徒の経費支弁者及び保護者と連絡体制が確立できている在日支援者と適切に連携している。項目 6-12 は、本校が次年度より開校のため、開校後に、進学先への訪問などを行い、支援体制の強化に努めたい。前述以外の項目については、対象年度内に生徒が在籍していないため、評価を行っていない。

7 教育活動等の改善を継続的に行う仕組み

内容	評価
7-1 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか。	A
7-2 教職員研修を行っているか。	A
7-3 教育目標に合致した教材が選定されているか。	A
7-4 授業に必要となる学習リソース及び情報を教員に提供しているか。	A

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

教育の質の向上に向けて、教員歴などに応じた研修の受講を設定している。また、教員間で授業に関する相互評価を行うための、研究授業なども実施する。教材については、教育理念や教育目的及び目標に適したものを選定している。授業に必要となる情報の提供は、教務会議にて、定期的に共有を行っている。

8 財務

内容	評価
8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	A
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	A
8-3 財務について会計監査は適正に行われているか。	A
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか。	A
8-5 海外の募集代理人（エージェント等）に支払った仲介手数料等の手数料の額が適正であるか。	A

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

財務状況は安定しており、諸経費の使用や仲介手数料額についても適切である。定期的な会計・財務上の監査を実施している。

9 危機管理・安全

内容	評価
9-1 危機管理体制が整備されているか。	A
9-2 火災・地震・台風等の災害発生時の避難方法、避難場所を定めているか。	A
9-3 感染症対策が適切に行われているか。	B
9-4 気象警報が発令された場合の措置を定めているか。	A
9-5 災害時に対する避難訓練を定期的実施しているか。	B
9-6 防災用品が備蓄されているか。	B
9-7 防災管理者、火元責任者等を選任しているか。	B

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

緊急時対応の連絡体制は整備されている。項目 9-3 については、本年度よりアルコール消毒の設置などを行う。項目 9-5 の避難訓練は、開校以降の生徒の入学時期（4 月と 10 月）に、教職員含む全員で行う避難訓練を予定している。項目 9-6 の防災用品については、十分ではあるが、生徒数に応じて増やしていくことを検討している。項目 9-7 は、防災管理者及び火元責任者等を新年度より選任している。

10 生徒募集と受け入れ

内容	評価
10-1 生徒の受け入れ方針は定められているか。	A
10-2 生徒募集活動は適正に行われているか。	A
10-3 生徒募集活動において教育成果は正確に伝えられているか。	A
10-4 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。	A
10-5 認定基準に基づいた適正な定員設定及び在籍者数になっているか。	A
10-6 海外の募集代理人（エージェンツ等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握し、不適切な仲介業者が関与していないことを確認しているか。	A

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

エージェンツについては、運営会議にて評価を行い、適切と判断した場合にも、協定書を締結した機関のみに選定している。募集の際には、生徒及び経費支弁者や保護者に対して母語で説明・相談を行っている。入学選考時では、予め基準を設けた上で、口頭及び筆記で日本語考査を行い、出願資料と入学選考時記録等を教務と事務が連携し確認を行っている。

1 1 法令等の遵守

内容	評価
11-1 入管法を中心とした各種法令、認定基準及び設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	A
11-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	A
11-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	A
11-4 自己点検・自己評価を公開しているか。	A
11-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか。	A

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

校長が中心となり、法令の遵守や個人情報の適切な管理について、教職員への指導や呼びかけを定期的に行っている。また、届出、報告、点検評価等については、担当を選定し、複数名で確認のうえ、対応する体制を整え、遅滞なく行っている。

1 2 学校運営

内容	評価
12-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。	A
12-2 生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか。	B
12-3 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	
12-4 出入国在留管理局より認められた申請取次者を配置しているか。	B
12-5 受け入れようとする生徒の言語対応ができる体制が整っているか。	A
12-6 入学検定料、入学金、授業料その他の納付金の金額、納付時期、納付方法、その他入学後の必要な費用が募集要項等に明記されているか。	A
12-7 法令に則った学費返還に関する規定を定め公開しているか。	A

【現状・具体的な取り組み／課題・改善策】

学校内の施設等を外国人技能実習生の講習に提供するなどの活動を行っている。生徒への言語対応について、募集の対象国（地域）の母国語対応可能な通訳人を職員通して、配置している。入学に関する費用や学費返還に関する規定は、募集要項に記載の上、入試の際にも説明を行っている。項目 12-3 については、情報システムを導入しているが、効率化に課題があるため評価を B とし、新システムへ移行し改善を目指している。項目 12-4 は、取次者が 1 名のため、複数人配置すること次年度の目標通している。項目 12-2 については、対象年度内に生徒が在籍していないため、評価を行っていない。

1 3 総括（自由記述）

開校前年度が対象の本点検評価では、学校全体の体制部分については概ね達成できている。
一方で、開校後を想定した部分については、改善の余地があるといえる。連絡体制、設備や制
度の改善等を行うが、生徒の支援体制については、想定通りとならない可能性もあり、実態に
合わせて臨機応変に対応していきたいと考えている。